薬経連ニュース平成31年1月18日号

（平成 31 年 1 月 1 日までのトピックの紹介）

Ⅰ.薬局・医療機関関連

I. 「医療危機」宣言

厚労省の「上手な医療のかかり方を広めるための懇談会」は、不要・不急な救急医療機関の受診や休日診療などで医師が過酷な労働環境に置かれていることを是正するため**「医療危機」を宣言**し、「医療のかかり方の啓発」や「どの医療従事者に相談したらよいかをサポートする患者・家族支援体制を整える」などのアクションを取っていくことにした。同懇談会には著名人が多数参加しており、参加者個人も普及を支援する。

II. 特定機能薬局

厚労省の厚生科学審議会医薬品医療機器制度部会は薬機法、薬剤師法など制度改正についての議論を取りまとめた。薬局は、在宅医療対応や他の医療機関・薬局と服薬情報の一元的・継続的情報連携を担う薬局、がん薬物療法などの高度専門薬局を法律上の制度として位置付け、**特定機能薬局とする方針**だ。かかりつけ薬局を 2022 年までに 6 割にしようという動きもあり、今後、薬局の重要性が高まっていくことが予測される。

III. 医師の働き方、連続 28 時間まで OK

医師の働き方改革に関する検討会は、医師の連続勤務時間制限と勤務間インターバルの水準に関して、宿直・引継ぎを含めた**連続勤務時間は 28 時間、勤務間のインターバルは 9 時間以上**とする案を固めた。米国などの事例を参考にしている。これを実現するには、看護師に任せる業務を増やしたり、他の科の医師と協力したり、強い意思で改革を進める必要がある。

IV. 医療の質向上のための協議会設置

厚労省は、**2019 年に「医療の質向上のための協議会」**を設置する。現在、医療の質などの情報を様々な病院団体などが公表しているが、それぞれが独自の臨床指標を用いている。そこで統一した臨床指標の算出、評価・分析、公表や臨床指標を使いこなせる人材の育成、医療機関における事例の共有などを通じて臨床指標の標準化を進める。

V. 妊婦加算、年明け凍結

妊娠中の女性への診察を評価する妊婦加算に関して少子高齢化に逆行するなど批判が上がっていることに対し、**中医協は厚労相に加算の凍結を答申**した。2020 年の診療報酬改定時に、改めて枠組みを検討する予定である。

関連部署でご回覧ください。

Ⅱ．行政・技術関連情報

I. 診療報酬上げ、薬価下げ

根本厚労相は麻生財相と折衝し、2019 年 10 月の消費税増税に合わせて、**診療報酬は 0.41%引き上げ、薬価は 0.51%引き下げ、全体で 0.07%マイナス**にすることで合意した。介護報酬は 0.39%引き上げる。今後は細かな点数配分を決めることになるが、前回の消費税増税では、増税分を反映しきれなかったため、2019 年度はしっかりとした対応が求められる。

II. 認知症予兆 AI ロボットが発見へ

AI を搭載したロボットが、いくつかの質問を行い、その回答によって**認知症の初期症状を検知する仕組み**を、長崎大学が開発した。顔や声を認識する AI に、認知症診断プログラムを組み込んだ。ロボットを使うことで、抵抗感なく遊び感覚で利用でき、診断を受けるすそ野が広がるかもしれない。

III. iPS 備蓄、京大から独立した組織

京都大 iPS 細胞研究所は、現在研究所内の一部門で行っている細胞の備蓄事業に関し、**公益財団法人などの形で独立させたい意向**を示した。事業を長期安定的に継続できるようにすることが狙いで、細胞の販売や製造受託などで積極的に収益を得ていく方針だ。一定の品質で大量生産することで、今よりも低コストで iPS 細胞を利用できるようにしていきたい考えだ。

IV. 社会保障費伸び 4800 億円に抑制

政府は 2019 年の**社会保障費の伸びを 4800 億円に抑制**することに決めた。年間 6000 億円ほどと考えられる伸びを来年も抑制させる。2019 年は高齢者の増加率が 0.9%増と微増なことと、公的年金の給付額の伸びを物価と賃金の伸びより抑えるマクロ経済スライドの発動などで高齢化の影響による社会保障費の伸びが 4800 億円となり見通しであり、薬価引き下げなどで 1200 億円の医療費抑制を実現させ、4800 億円に抑える。

V. 社会保障費 34 兆円

政府は来年度当初予算案を固めた。**社会保障費は 34 兆 600 億円**となり、前年度より 1 兆 700 億円増加する見通しだ。高齢化による伸びが 4800 億円、その他幼児教育の無償化や低所得の年金受給者への給付金など、消費税増税を見込んだ施策が入る。一般会計予算では、このほか防衛費や公共事業も前年度比で増加している。公共事業は耐震強化、水害対策、老朽化したインフラの更新など必要性が高い。防衛費も新型戦闘機購入などでしばらくは高止まりするだろう。社会保障以外に緊急性や重要性が高い案件も出ており、社会保障費抑制は続きそうだ。

関連部署でご回覧ください。

Ⅲ. 企業関連情報

I. 大正製薬、仏 OTC 企業買収

大正製薬は、ブリストルマイヤーズスクイブの子会社が保有する**フランスの OTC 医薬品メーカーである UPSA　SAS の全株式を取得**し、同社を子会社とする契約を締結した。大正製薬はセルフメディケーション事業における海外部門の強化を進めており、アジア地域では一定の成果を出してきた。今回の買収により、ヨーロッパにおける拠点ができ、海外展開が一層進んでいく。

II. 武田薬品、NYSE 上場

武田薬品工業は、**ニューヨーク証券取引所に米国預託証券を上場**する予定であることを発表した。預託証券とは、米国以外に国の企業が、その企業の本国で発行する株式などの証券を米国内にてドル建てで取引し、配当金などもドル建てで受け取れる仕組みにして投資家の利便性を高めたものである。預託証券としたので、本社を日本のままにするという事なのだろうが、一方で日本市場ではなく米国市場から株主を呼び込みたい思惑でもあるのだろう。

III. 田辺三菱、情報・サービス子会社

田辺三菱製薬は、連結子会社である田辺総合サービスの社名と目的を変更し、田辺三菱プロビジョンを設立、**医薬品情報に係る業務、経理・総務・人事等の運営にかかる業務を担う**。新会社ではロボティックプロセスオートメーションによる業務効率化などを進めていく。今後、田辺三菱は、事業展開を進める田辺三菱製薬、生産を担う田辺三菱製薬工場とともに情報・サービスを担う企業として貢献していく。

IV. ノボ、デジタルヘルス活用

ノボノルディスクファーマは糖尿病患者の服薬支援を、医療従事者を巻き込んで実施していくため、**健康生活サポートアプリ「シンクヘルス」を運営する H2 社とパートナーシップ契約を締結**した。「シンクヘルス」には糖尿病患者などが血糖測定器や血圧計などからデータを自動で吸い上げ記録していく機能があり、手入力せずに自己管理が出来る。この機能を利用して糖尿病治療の継続を支援する。

V. 中外製薬、がん遺伝子検査キット承認了承

薬食審はがんゲノムプロファイリング検査に用いる**遺伝子変異解析セット 2 品目の承認を了承**した。腫瘍細胞の包括的なゲノムプロファイルを取得し、関連する医薬品の適応判定の補助が期待される。中外製薬は「FoundationOne CDx　がんゲノムプロファイル」、シスメックスは「OncoGuide　NCC オンコパネルシステム」でいずれも検査を行える医師や施設に制限がある。

関連部署でご回覧ください。

Ⅳ. 展望

I. 技術と市場のバランス

先日、家庭内での議論と摩擦の末「ニンテンドースイッチ」を子どもに買った。そして久しぶりにゲーム機のコントローラーを握ったのだが、いろいろと驚いた。まずは画像のクオリティだ。最近のCG アニメ映画でも見ているかのような精細で滑らかな映像となっている。そして、ゲーム機自体に液晶画面がついており、外でも遊べる仕様なのだが、家ではテレビにつないで大画面でも遊べる。

つい最近まで、ゲーム機というと**テレビに接続する家庭用**と、液晶画面が内蔵されて**場所を選ばずどこでも遊べる携帯用**があった。任天堂も、家庭用の「Wii」と携帯用の「ニンテンドーDS」の 2 ラインがあった。昔の「ファミリーコンピュータ」と「ゲームボーイ」の延長線だ。携帯用ゲーム機は、液晶画面を内蔵している上、携帯が前提のため、大きさ、重さに制限がある。一方で家庭用ゲーム機は内蔵モニター不要で、ゲーム機本体の大きさも制限がない。そのため、**家庭用ゲーム機の方が、性能が高い傾向にあった**。ところが、今回の「ニンテンドースイッチ」は、家庭用ゲーム機としても、携帯用ゲーム機としても使える。

家庭用ゲーム機として、技術開発を進めれば、「ニンテンドースイッチ」よりも高性能な機械を作ることは可能なのだろうが、そこまで**性能を上げても消費者が付いてこない**のだろう。それであれば、家庭用ゲーム機を携帯用ゲーム機サイズに小型化する方向で技術開発を進めたほうが分かりやすい。そして従来の家庭用ゲーム機と携帯用ゲーム機という区分けがなくなった。

「ニンテンドースイッチ」という製品自体は外でも遊べる家庭用ゲーム機という競争力あるポジションを得た。しかし、**家庭用ゲーム機と携帯用ゲーム機という 2 つの市場が 1 つにまとめられてしまう**ため、任天堂全体にとっては将来的な市場縮小になろう。もちろん他のメーカーにも影響が出る。

ゲームに関する技術は日々進歩している。一方で**技術の使い道の方が上手く見つけられなかった**のだろう。その結果、進化した技術をとりあえず小型化という形で使った。その結果、外でも遊べる家庭用ゲーム機になった。もし、ゲームの領域で新しいニーズを見つけて、そこに進化する技術をつぎ込めば、新たな市場を作る事が出来たかもしれない。

技術というものは、携帯電話がスマートフォンに変化したように、新しいものを生み出す場合もあれば、昔の携帯電話のように小型化を進めて行ったり、低価格化のために使われたりもする。もちろんそれも大切だが、**技術の進歩に合わせてニーズを見つけ出さないと、技術は市場を小さくしていく**のだ。（武田）

関連部署でご回覧ください。

Ⅴ．市場動向レポート

I. いい塩梅の治療

ちょうどこの記事を書く前日、大事件が起きた。と言っても結果、大事にはならなかったのだが。子どもが下校時刻に校庭の池の前で転んで顔から着地、鼻の下に擦過傷が出来た。寒くてポケットに手を入れていたのだろう。すぐに学校から家内のところに“我が子が血だらけで保健室にいるから迎えに来てくれ”と電話があり、家内は勤め先に「子どもが血だらけなので早退します」と告げて退勤したらしい。

実際は**単なるかすり傷**なのだが、念のためにと校医がいるクリニックに行ったら、専門外だから皮膚科に行けとのことで、皮膚科を受診、保険証がなかったのでそのあとの薬局と合わせて１万５千円ほど支払ったらしい。これは後で保険と市の補助で全額戻ってくるため、家計に影響はないがなんだか申し訳ない気になる。

これから医療機関の受診の仕方を変えていこうと政府が音頭を取ろうとしているが、今回の事件を経験してその通りだと痛感した。子どもの顔を見ると擦り傷でしかなく、怪我した場所が膝や腕ならこんな騒ぎはならなかっただろう。この単なる擦り傷で医療機関を受診し、**医師の方も来たからには最善を尽くさねば**と、処置と軟膏の処方を行い、調剤基本料含め貴重な保険財源からお金が出ていく。

今回の一連の流れの中で、医療機関受診までのやり取りと、担当してくれた皮膚科医の治療方針に温度差が大きいことに気づかされた。**こちらサイドはあくまでかすり傷だし、念のため受診しただけ**のようだ。しかし、医師の方はそのような事情は知らず、検査して患部を洗浄して、軟膏を塗って、軟膏と化膿しないよう抗菌剤まで処方してくれた。

一日でも早く傷を治したいという強い思いがあるのなら、このような治療を受ける価値もあるだろう。しかし、あちこちにかさぶたを作っている小学３年生男子の我が子にはもったいない。我々は見る限り軽傷だが、素人判断は危険なので、セカンドオピニオンとして皮膚科医の見解を知りたかっただけなのだ。

医療機関に行くと、「今日はどうされました？」とは聞かれるが、**症状を話すと、自動的に最善の治療が始まる**。しかし、医療機関を受診しに来る人の中には、少し熱があるとか、なんとなくお腹が痛いとか、そんな人もいるだろう。彼らは今の症状を治したいというより、何か悪い病気ではないだろうかと、不安で現状を知りたいだけの場合もあろう。

患者側も、医療機関の受診の仕方を考えなければならないが、医療者側も常に全力ではなく、相手の要望に合わせて、手加減してもよいのではと、我が子のかすり傷に公的資金を１万５千円投入させて気が付いた（武田）

関連部署でご回覧ください。

VI. 数字で見る医療提供体制（都道府県後発品シェア 18 年 7 月）

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度					平成30年度		
		4月～3月	4月～3月	4月～3月	4月～3月	4月～3月	4月～9月			10月～3月	4月～7月		
								6月	7月			6月	7月
	全 国	47.9	56.4	60.1	66.8	70.2	69.0	69.2	68.6	71.3	74.3	74.5	74.6
	北海道	48.3	57.2	61.6	68.1	71.6	70.6	70.8	70.2	72.6	75.5	75.8	75.8
	青 森	50.6	59.3	62.7	68.7	71.6	70.7	70.9	70.2	72.5	75.2	75.4	75.4
	岩 手	53.8	62.6	66.3	73.4	76.3	75.5	75.9	74.7	77.2	80.6	81.0	80.9
	宮 城	49.9	58.6	62.1	69.3	73.0	71.7	71.8	71.2	74.1	77.5	77.8	77.8
	秋 田	42.1	53.1	58.2	66.7	70.4	69.3	69.6	68.8	71.4	75.3	75.7	75.6
	山 形	53.1	62.9	66.1	71.6	74.4	73.4	73.6	73.0	75.3	78.5	78.8	78.9
	福 島	45.4	53.5	58.0	65.8	69.9	68.7	68.8	68.2	71.1	74.6	75.0	75.0
	茨 城	45.4	54.5	58.6	66.2	69.7	68.6	68.7	68.1	70.8	73.6	73.9	73.9
	栃 木	47.5	54.7	58.7	66.4	70.4	69.0	69.2	68.5	71.6	75.0	75.2	75.4
	群 馬	51.9	60.4	64.0	70.4	73.7	72.7	72.8	72.2	74.7	77.8	78.1	78.1
	埼 玉	49.9	58.1	61.4	68.1	71.4	70.3	70.3	69.8	72.5	75.3	75.6	75.7
	千 葉	49.2	57.2	61.1	67.6	70.8	69.6	69.8	69.2	72.0	74.9	75.2	75.3
	東 京	44.9	53.2	56.6	62.4	65.9	64.7	64.8	64.4	67.0	69.8	70.1	70.2
	神奈川	47.7	56.2	59.4	65.5	68.6	67.5	67.6	67.0	69.7	72.4	72.7	72.7
	新 潟	48.5	56.7	60.7	68.7	72.6	71.3	71.5	70.9	73.7	77.0	77.2	77.3
割	富 山	52.1	60.0	63.3	70.5	74.2	73.1	73.4	72.4	75.4	78.1	78.2	78.4
	石 川	49.0	57.8	62.3	69.2	72.7	71.6	71.9	70.9	73.6	76.5	76.7	76.6
	福 井	50.8	60.0	64.0	71.0	74.7	73.5	73.5	72.9	75.8	78.4	78.7	78.7
	山 梨	42.6	48.8	52.8	59.6	64.0	62.7	62.8	62.3	65.3	69.4	70.1	70.4
	長 野	51.6	61.2	64.7	71.1	74.0	72.9	73.1	72.4	75.0	78.2	78.4	78.4
	岐 阜	46.8	55.1	58.8	65.6	68.8	67.6	67.6	67.2	70.0	72.8	73.1	73.2
	静 岡	48.3	57.5	61.4	68.7	71.9	70.7	70.8	70.2	73.0	75.9	76.2	76.2
	愛 知	46.8	55.6	59.8	67.2	70.6	69.2	69.4	68.7	71.9	74.7	74.9	75.0
	三 重	49.0	56.9	60.8	68.3	71.6	70.3	70.4	69.8	72.7	76.0	76.2	76.3
	滋 賀	45.3	53.9	58.9	67.0	70.6	69.3	69.6	68.9	71.7	74.6	74.8	74.7
	京 都	45.2	53.2	57.1	63.7	67.4	66.2	66.3	65.9	68.4	71.1	71.3	71.3
	大 阪	45.4	53.4	57.0	63.6	67.2	66.0	66.1	65.6	68.4	71.3	71.5	71.5
	兵 庫	47.2	55.9	59.6	66.1	69.4	68.3	68.4	67.9	70.4	73.4	73.6	73.7
	奈 良	49.9	57.6	61.1	66.4	69.1	67.9	68.0	67.6	70.2	72.5	72.7	72.7
	和歌山	45.3	52.0	56.3	63.2	67.1	65.8	65.8	65.6	68.3	71.2	71.3	71.8
合	鳥 取	48.8	57.9	62.1	70.4	74.2	72.9	73.2	72.6	75.4	78.1	78.4	78.3
	島 根	50.4	60.8	64.6	71.5	74.8	73.7	73.9	73.1	75.8	79.0	79.2	79.2
	岡 山	50.2	59.4	62.5	69.1	72.2	71.1	71.2	70.6	73.3	76.4	76.7	76.8
	広 島	45.6	54.4	57.8	64.5	67.8	66.6	66.7	66.0	68.9	71.9	72.0	72.0
	山 口	49.1	58.6	62.6	69.5	72.6	71.4	71.5	70.8	73.7	76.9	77.1	77.1
	徳 島	39.6	46.8	50.4	57.1	61.8	60.0	59.9	59.5	63.5	66.6	66.8	67.0
	香 川	45.6	53.7	57.1	64.8	68.0	66.9	67.1	66.5	69.0	72.2	72.3	72.4
	愛 媛	45.8	53.7	59.5	67.7	71.0	70.0	70.1	69.6	72.0	75.1	75.3	75.4
	高 知	43.2	51.8	54.3	61.7	64.8	63.8	63.8	63.5	65.8	69.0	69.5	69.5
	福 岡	49.8	57.1	60.6	67.6	70.8	69.6	69.8	69.2	71.9	75.1	75.4	75.4
	佐 賀	48.7	57.7	61.3	68.8	72.2	70.8	70.8	70.0	73.6	77.2	77.4	77.5
	長 崎	48.9	57.3	60.9	67.8	71.6	70.4	70.5	70.0	72.8	75.7	75.9	76.1
	熊 本	52.0	59.6	62.5	69.5	72.5	71.6	71.7	71.2	73.4	76.8	77.0	77.2
	大 分	48.1	55.8	59.2	67.0	70.6	69.4	69.5	69.0	71.7	75.1	75.2	75.4
	宮 崎	51.3	60.3	64.4	72.0	75.3	74.1	74.1	73.7	76.4	79.4	79.5	79.7
	鹿児島	56.6	65.4	68.6	75.0	77.9	76.8	76.9	76.4	78.9	81.5	81.7	81.7
	沖 縄	63.9	70.3	72.8	78.3	80.8	80.1	80.5	79.5	81.5	84.7	85.0	84.7

関連部署でご回覧ください。